

WG2 : 損傷評価 議事録 (案)

記録 北山和宏

日時 : 2006 年 8 月 8 日 (火) 17:00~19:30

場所 : (社) 日本コンクリート工学協会 12F 会議室

出席者 : 河野 (幹事), 稲熊、北山、小林、田嶋、林 (事務局) 以上 6 名

資料

No.1 耐震補強した構造物の性能評価 原稿内容 (北山)

No.2 3.2.2 部材および構造物全体の限界状態の設定 原稿案 (田嶋)

No.3 鉄筋コンクリート部材を対象とした地震損傷評価に関する研究の動向 (田嶋)

No.4-1 2.損傷評価 2.3.3 FEMA356 原稿案 (河野)

No.4-2 FEMA356 Pre-Standard and Commentary for the Seismic Rehabilitation of Buildings 目次 (河野)

No.5 混合より線を用いた損傷制御型 PC 構造システムの研究 論文概要 渡邊有香子 (河野)

No.6 Pampanin, S. and A. Amaris : Implementation and Testing of Advanced Solutions for Jointed Ductile Seismic Resisting Frames, paper for fib.2006, ID 8-20 (河野)

No.7 2.2 土木構造物の耐震補強の現状 (小林)

No.8 当委員会報告書の目次原案 (河野)

議事内容

1. 資料 No.1 (北山) 耐震補強した RC 建物の性能評価について、既往の研究をまとめて報告書とする原案が示された。

- ・ 土木分野については誰がどのくらい執筆してくれるのか。できれば全体系の性能評価について記述して欲しい。(北山) -> 鉄道高架橋などについては記述可能だろう。(小林)
- ・ JCI 菅野委員会の報告書が役に立つだろう。(小林)
- ・ 土木構造物の補強では現行基準レベルまでは性能を引き上げられない場合もある。(小林)
- ・ WG3 では補修後の実験結果の評価を簡単に行う方法を検討している。(小

林)

- ・ 海外の研究として FEMA の資料が役に立つのではないか。(河野)
- ・ 耐震補強された建物の性能評価も AIJ 性能評価指針(案)に従って行うことが可能ではないか。(河野)->その通りである。(北山)->建物を補強したとたんに、その性能評価を耐震診断基準の I_s 値で行うようになる理由なども記述して欲しい。(河野)

2. 資料 No.2(田嶋) 部材および構造物全体の限界状態の設定について、報告書原案を示した。

- ・ J. Moehle 先生の PEER での取り組みは Vision 2000 などとどこが異なるのか。(北山)
- ・ 損傷評価の指標として金額が使えれば、一般人にはわかりやすいだろう。(河野)
- ・ 建築、土木で区別することなく限界状態を記述することも可能だろう。(田嶋)

3. 資料 No.3(田嶋) 部材および構造物全体の損傷評価に関する文献調査について、取りまとめたものである(文献調査委員会の原稿)。

- ・ 分量が多いので、このままでは委員会報告書に向かない。(河野)
- ・ 部材の Damage Index は各種提案されているが、お勧めはどれか。(北山)

4. 資料 No.4-1、4-2(河野) 損傷評価に関する文献調査として FEMA356 を取り上げた。1章、2章、6章くらいがまとめる対象となるだろう。

- ・ 建物の耐震性能の表は FEMA356 にあるものを日本語訳したものか。(北山)->その通りである。AIJ 性能評価指針(案)についても同種の表をまとめてくれるとわかりやすい。(河野)

5. 資料 No.5、6(河野) 北嶋委員に原稿執筆を依頼している損傷制御に関する資料である。

6. 資料 No.7(小林) 土木構造物の耐震補強の現状について、JCI のどこかの委員会の資料としてつくったものを紹介した。これをベースにして3.2.4節の土木分野をまとめた。

- ・新潟県中越地震を経験した鋼板補強高架橋柱について、鋼板をはがして見たところ無被害であることが確認できた。(小林)

7. 資料 No.8(河野) 委員会報告書の目次案について再度見直した。

- ・第2章の建築分野の内容はおもしろそうだが、章のタイトルはもう少し魅力的にして欲しい。(北山)
- ・土木構造物で被災後の復旧性が問題となったような事例はあるのか。(北山)
->1995年の兵庫県南部地震のときが最初である。(小林)
- ・2003年三陸南地震での鉄道高架橋の復旧事例について簡単に説明した。(小林)
- ・土木分野の執筆担当者を以下のように決定した。岡野委員には河野主査が連絡する。

3.1.3 稲熊

3.2.1 -----

3.2.2 岡野

3.2.3 稲熊

3.2.4 小林・稲熊

3.3.2 岡野

次回WG2:2006年8月29日(火)午前10時から12時まで